

消防保安課 御中

# 分析レポート（最終）

あなたが思う「消防団」のイメージを教えてください！



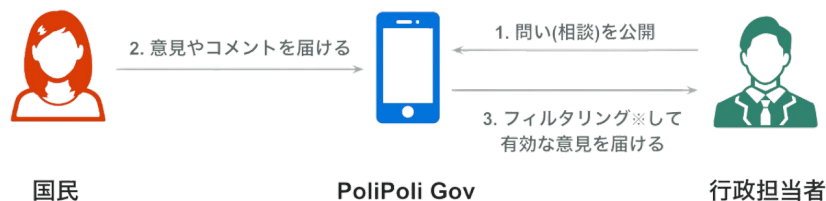
2025年12月5日



# 意見募集の概要・実施結果

- 調査方法：デジタルツール「PoliPoli Gov」を用いたインターネットリサーチ
- 意見募集のテーマ
  - あなたが思う「消防団」のイメージを教えてください！
- 調査期間：2025/7/24～2025/9/7（46日間）
- 調査地域：全国オンライン
- ページ閲覧数：1,128PV
- 総コメントユーザー数：215人（\*ユーザーIDの重複を削除した値より、ユニークユーザー(UU)数を算出）
- 総コメント投稿数：246件（\*コメント公開基準に抵触する非公開コメントを除外した値を算出）
- 回答者の属性（必須回答）：
  - あなたと群馬県との関わり
  - あなたの年代
  - あなたの性別

## 意見募集の仕組み



※プラットフォーム内のコミュニティを健全に保つため、投稿されたコメントが攻撃的な内容や広告目的と判断された場合に、運営側でコメントを非公開としています。



## 意見募集の概要・実施結果 | 全コメントにおけるユーザー属性

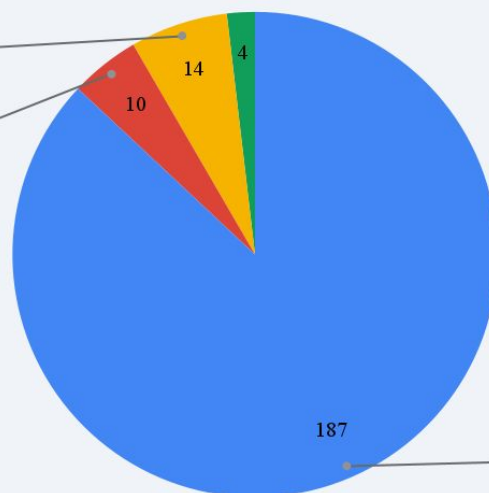
あなたと群馬県の関わり(n=215)

観光などで群馬を訪れた

6.5%

過去、群馬に居住・通勤/通学した

4.7%



群馬に居住・通勤・通学している  
87.0%

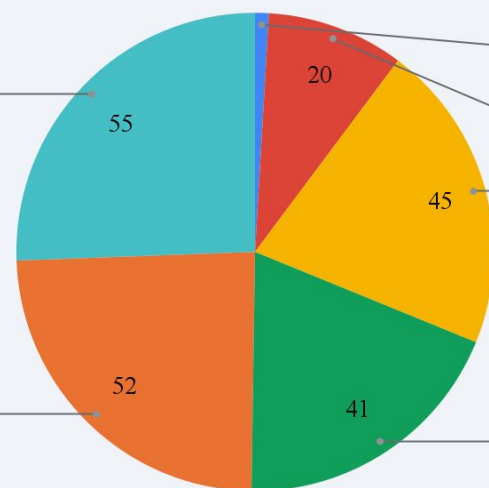
年代別分布(n=215)

60代以上

25.6%

50代

24.2%



10代以下

0.9%

20代

9.3%

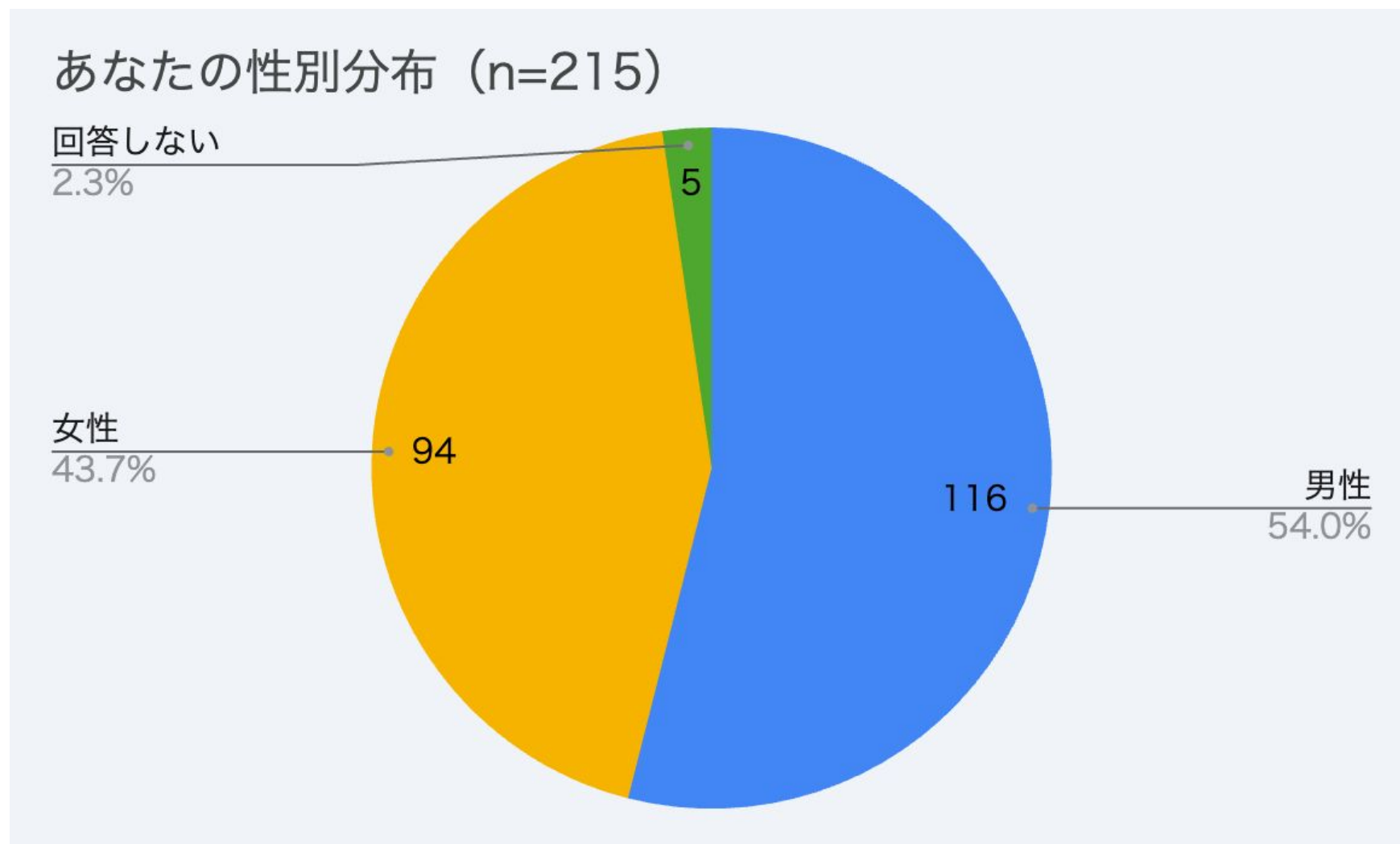
30代

20.9%

40代

19.1%

## 意見募集の概要・実施結果 | 全コメントにおけるユーザー属性

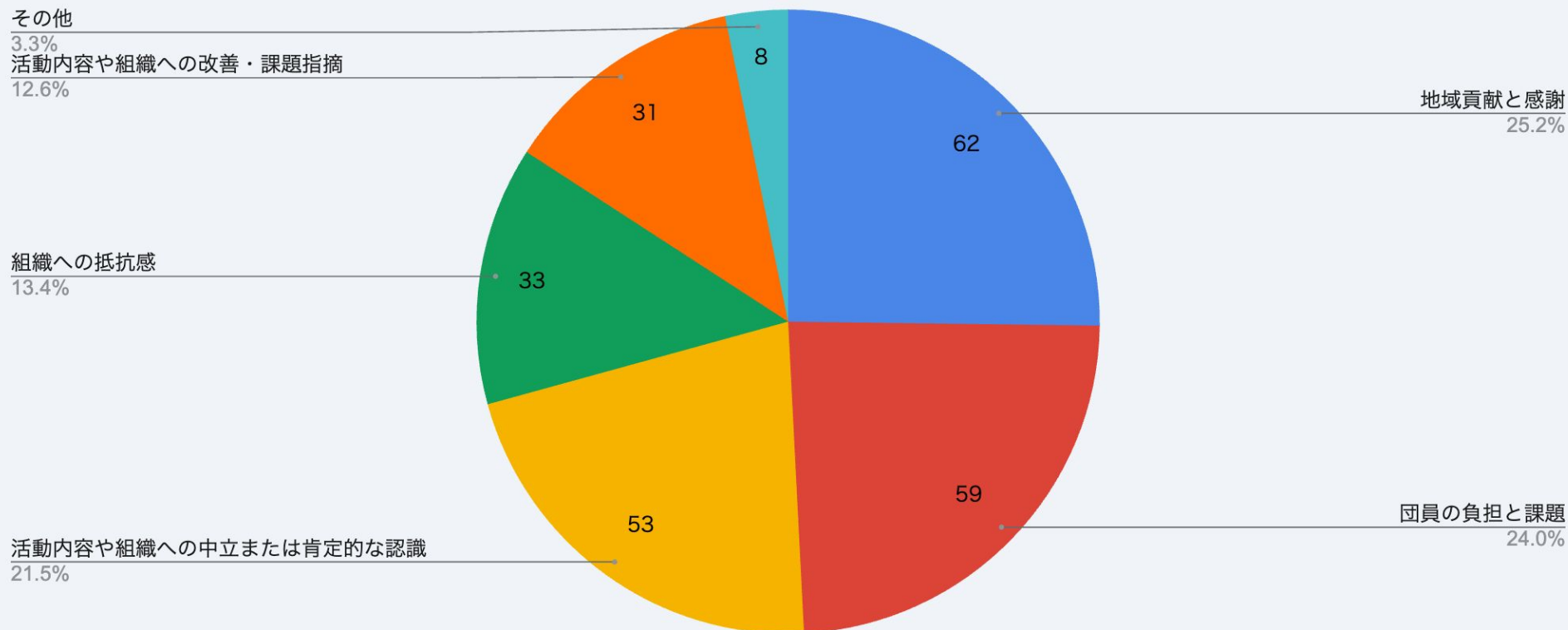


## カテゴリごとの分析 | コメントを6つのカテゴリに分類

### カテゴリ別コメント件数 (n=246件)

「地域貢献と感謝」に関するコメントは、消防団への感謝や信頼感を示す内容が多く、全体の 25.2%を占め最も多く寄せられた。これは地域における消防団の存在意義や住民からの期待の大きさを示しているといえる。一方で、「組織への抵抗感」「活動用や組織への改善・課題指摘」「その他」の合計が約 3割となり、比較的懐疑的な意見も見られた。

コメントのカテゴリ別割合 (n=246件)



# カテゴリ

全件のコメントを下記6つのカテゴリに分類しました

カテゴリ	コメント概要
<b>地域貢献と感謝</b> (旧: 地域貢献と頼もしさ)	キーワード: 実際の経験に基づく、地域密着、安心、安全、頼りになる、人命救助、防災意識、ヒーロー、感謝 概要: 消防団が地域の安全・安心を守る不可欠な存在であり、火災や災害時に率先して活動してくれることへの感謝と信頼を表すコメント。地域住民が消防団を頼もしく感じ、その存在が地域の防災意識を高めているというポジティブな意見もありました。
<b>活動内容や組織への 中立または肯定的な認識</b> (旧: 団員像と入団動機)	キーワード: 活動内容、役割、実態、イメージ、認識、理解、団員像、動機、憧れ、やりがい、責任感、人助け、自営業、地元密着、真面目、正義感、協力、連携、交流、団結、若者、高齢者、男女 概要: 消防団の活動実態、組織のあり方、団員の人物像や役割、そして活動参加の動機などに対する、市民の理解、イメージ、観察に基づいた認識を述べるコメント。活動の具体的な内容、団員の属性(性別、職業、年齢層など)、組織内の人間関係や交流、地域とのつながりに関する見解などが中心です。
<b>団員の負担と課題</b>	キーワード: 体力必要、命の危険、時間拘束、両立困難、人手不足、高齢化、強制ボランティア、無給/低報酬、家族の犠牲 概要: 消防団員の活動が肉体的・精神的に厳しく、多くの時間的制約や危険を伴うこと、そしてその活動が個人の生活や家族に大きな負担をかけているという懸念を示すコメント。特に「なり手不足」や「高齢化」といった現代の課題も含まれます。
<b>活動内容や組織への 改善・課題指摘</b> (旧: 組織体制と活動内容への疑問、改善・改革への提案)	キーワード: (課題) 消防士との違い、役割不明確、活動内容不明、操法大会不要、訓練の実用性、無駄な行事、転換点 (改善) 新たな仕組み、インセンティブ、強制入団、広報イベント、デジタル化、操法大会廃止、勤務地参加、女性の参加 概要: 消防団の役割や活動内容が一般に理解されにくいこと、特に消防署との違いや、操法大会など一部の訓練・行事の実用性に対する疑問を呈するコメント。既存の組織体制の見直しや、より実践的な活動への転換を求める声も含まれます。

## カテゴリ

全件のコメントを下記6つのカテゴリに分類しました

カテゴリ	コメント概要
<b>組織への抵抗感</b> (旧:閉鎖性と人間関係、個人的な経験と感情、組織体制と活動内容への疑問のうち嫌悪感が感じられるコメント)	キーワード: 閉鎖的、よそ者お断り、しがらみ、連帯責任、上下関係、体育会系、飲み会、地域特有、抜けるのが大変、うんざり、やりたくない 概要: 消防団の組織が閉鎖的であり、特定の間関係や慣習(特に飲み会や年功序列、しがらみなど)が強く、新規入団者や地域外からの参加者にとって敷居が高いと感じられる側面を指摘するコメント。
<b>その他</b> (旧:報酬と透明性)	キーワード: 報酬不明瞭、ピンハネ、手当少ない、税金、会計報告、使い道 概要: 消防団員への報酬や手当に関して、その金額が活動に見合わないことや、使途が不明瞭であることに対する不満や疑問を示すコメント。より透明性のある会計報告や、団員への適切な還元を求める声が含まれます。

# カテゴリごとの 代表的なコメント

## 代表的なコメント | 地域貢献と感謝

- 有事の際に力になる地域の組織というイメージです。消防団がしっかりしている地域は街の防災意識や地域住民の助け合い(共助)の意識があると感じます。(20代・女性)
- 地域のために頑張っている。かっこいい。でも、大変そう。消防職員との役割分担がよく分からないが、自営業者や市町村職員など、地元密着の人が参加している気がする。(30代・女性)
- 生命・財産を災害等から守ってくれて何よりも頼れる団体と感謝しています。危険な仕事なので怪我等に注意してご活躍されることを願っています。(60代・男性)
- お隣さんが火事の時、うちに火がうつらないように家に水をたくさんかけてくれました。そのおかげもあり貰い火にならないで済みました。お隣さんは全焼だったけど。その時 頼りになる！って思った ありがとうございます(50代・女性)

## 代表的なコメント | 団員の負担と課題

- 過酷なお仕事をされている。精神的肉体的に休まる事がないのではと…  
（60代・女性）
- 入っていませんが、大会などもある拘束時間が多いイメージです。  
ボランティアの方に任せてしまっているのも、入っていない世帯で負担  
金を払ってもよいと思います。（30代・男性）
- 仕事をしながら消防団員としての活動をこなすのは自分の時間や家族の  
時間を削らざるを得なく、無くてはならない存在ではあるが、なかなか  
にして大変な仕事だと感じる（40代・女性）

## 代表的なコメント | 組織への抵抗感

- 地域の消防、防災活動はもちろんなのですが、消防団に加入することによって地域の繋がりを持てるところ。（50代・女性）
- 地区の若い人達が活動している団体。火事の際はもとより運動会やお祭りなど、地域のイベントに参加して準備や片付けなども手伝っている。団員同士の親睦を深めるような活動もしている。（40代・女性）
- 「消防団」のネーミングから飲み会、年功序列、先輩後輩等昔のイメージもあります。（60代・女性）
- 会合という名の飲み会ばかりのイメージ。（30代・回答しない）

## 代表的なコメント | 活動内容や組織への中立はまたは肯定的な認識

- 消防士になりたかったけど他の仕事をしている人や消防士への憧れがある人が消防団に入っているイメージがある。（10代以下・女性）
- その地域の一般の住民が消防士のような役目を担うものだと思っていますが、詳しい活動内容はよくわかりません。住民の少ない地域だと、消防団に入らないといけないイメージです。（20代・女性）
- 消防団と聞くだけで男性が多いイメージで、消防団のなかに女性はいないような、そんなイメージです。（30代・回答しない）
- 普段はお仕事をしていて出動要請があったら駆けつけてくれる人達。責任感の強い人達というイメージです。（50代・女性）

## 代表的なコメント | 組織体制と活動内容への改善・課題指摘

- 消防団に所属しているが訓練の実用性が乏しい。特にポンプ操法は競技としてではなく訓練として行って欲しい。型通りの操法しか覚えられないため実際の現場で役に立たない。  
機材の操作方法とホースや筒先の取り扱いについてローテーションする全体訓練を行うべきだと思う。  
災害や救命に対する講習や訓練を重点的に行えたら有意義だと思う。  
(30代・女性)
- ボランティア性質が強い形式的な無駄な行事（実戦で使えない）が多い。そのための練習が多すぎる。消防車の運転、火災を想定した配備などの訓練などのもっと実践に役立つことやればいいのに思う (30代・女性)
- 消防団が活躍する内容を、一般市民にも広げ、共同で作業できる体制を整えておいたら、イザという時にも役に立てる人が増えます。  
機会ある毎に、楽しいイベントの中の一環として参加しやすくする。  
そうする事で、記憶に残りやすくする手立てを作る。 (60代・女性)

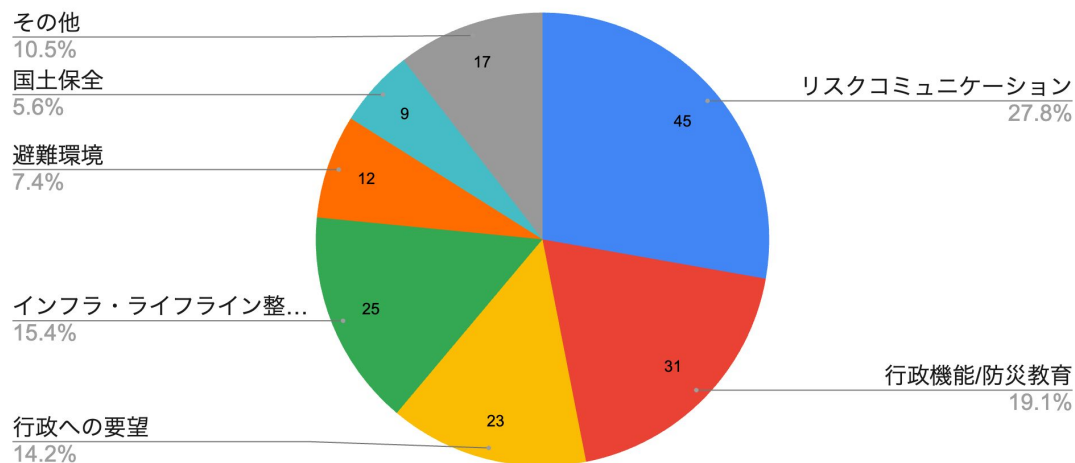
# 類似の意見募集から見える 群馬県民の傾向

## 群馬県での類似の意見募集

「国土強靱化」文脈で、県民に防災意識や防災のための取り組みについてヒアリングを実施。最も回答が多かったのは「リスクコミュニケーション」で、災害時の県からの情報提供や、県民同士でコミュニケーションが活発にされることなどがあげられ、**地域でのコミュニケーションの活発化**を求めている傾向があった。



コメントカテゴリ (n=162)

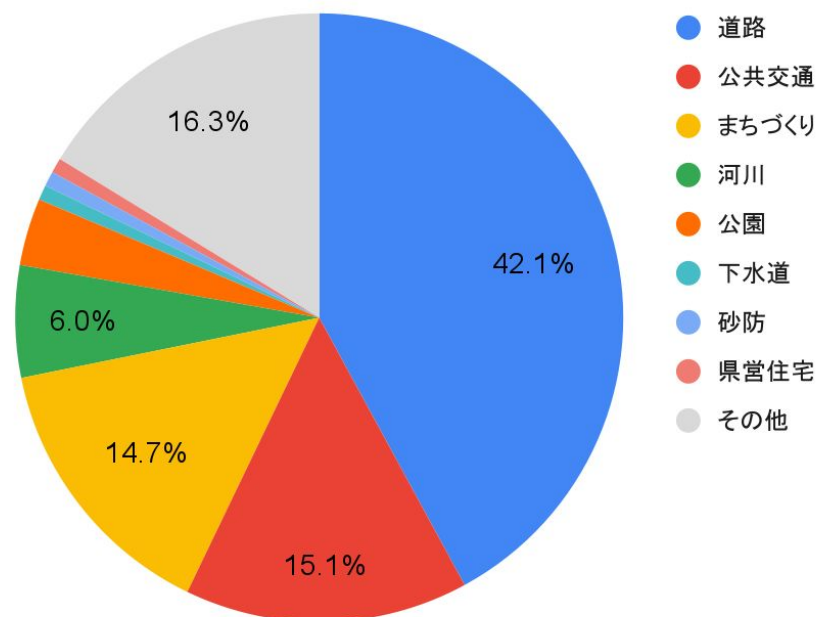


## 群馬県での類似の意見募集

まちづくりの文脈でヒアリングをした際は、防災メインでのコメントは見られず、「道路」「公共交通」などインフラについてのコメントが多く見られた。一方で、インフラのコメントの中で、「災害時のためにも、道幅を広く...」といった防災を意識したコメントもいくつか見られ、**災害が少ないエリアでありながら防災意識が随所に見られる**ことがわかった。



施設・事業種別カテゴリの割合（全252件）



## まとめ

---

意見募集の結果から、消防団に対しては肯定的な意見と、懐疑的な意見の両方が見られました。

懐疑的な意見の中には、現状持っているイメージだけでなく、そのイメージを払拭するにはどのようにしたら良いか、といった前向きなコメントも寄せられました。

他の意見募集を見ても、群馬県民の傾向として、地域との繋がりを求めている、潜在的な防災意識があるため、様々な形で消防団との関わりは考えられるのではと推察されました。

今後の消防団運営や、消防団員増加施策の参考になれば幸いです。

